

## 令和2年度 第5回役員委員合同会議 議事録

日時： 令和2年8月1日（土）午後1時～午後2時 委員会

午後2時～午後4時 役員・委員会

会場： コール田無 会議室 司会： 久保田 書記： 熊田

出席者（水井、鶴田、後藤、安松、栗田、吉本、伊藤、小垣原、松本、久保田、熊田、濱田）

### <支部長挨拶>

新型コロナウイルス感染拡大が第二波の様相を呈しています。できるだけ短時間で会議を終えたいと思います。今回からは毎回具体的な問題について各委員会で役員会前に議論して頂くことにします。それらの結果を踏まえ活発な意見交換を行い、具体的行動に移して行きたいと考えています。

### <報告事項>

- ・ 松本良一さんと林 敦子さんが委員に就任（濱田）  
松本さんから少しずつ進めて行きたいとの挨拶。毎週、仕事のため、遅れて出席する。  
林 敦子さんは土曜日に仕事が入っているので、議案書、議事録を送って少しずつ仕事をお願いして行く。当面、委員会は無所属で活動する。
- ・ Web 会議システム実験の結果報告と今後の展開について（熊田）  
栗田、小山、安松、濱田、久保田さんが参加。環境整備とシステム実験を行った。一年後に皆が参加できるようにするのが目標。
- ・ 地域社会貢献活動と、会の運営費用の改善についてのアンケート結果は最終ページに掲載（熊田）
- ・ 北部支部の総会書面表決結果（濱田）～北部支部全体の返信数は 1667 で、昨年 1551 より 7%増。  
西東京は返信数 161 で昨年の 102 より 58%増。原因分析中。返信率 11%。157 名の属性は次の通り。

#### 1) 157 名の男女別人数

男性：(137名)1114名 女性：18名（333名） 退会2名

#### 2) 年代別の人数

1959 年以前 26 名 1960 年代 28 名

1970 年代 20 名 1980 年代 30 名

1990 年代 14 名 2000 年代以降 30 名

#### 3) 地域（町）別人数

ひばりが丘 8 名 ひばりが丘北 4 名 栄町 4 名 下保谷 5 名 向台町 11 名

芝久保町 13 名 住吉町 4 名 新町 3 名 西原町 3 名 泉町 13 名 谷戸町 17 名

中町 8 名 田無町 6 名 東町 4 名 東伏見 2 名 南町 5 名 富士町 6 名

保谷町 6 名 北原町 3 名 北町 9 名 柳沢 11 名 緑町 8 名

#### 4) 今後、この最新情報に、市民まつりのはがき郵送先や過去の北部返信はがきを出した人を

突き合わせ、それらの情報を最新名簿に付加する。その後、これまで使っていた小山さん情報名簿を一体化して総合的な基本名簿を作成する。これまでの会員で退会した人の情報も付加する。(総務委員長、会員増強委員長) → こうして会員獲得情報のデータベースができる。

- ・ 北部支部の落語会は、今年度は中止、一年後を目指して体勢立て直し(濱田)
- ・ 校友会が「明治大学学生・教育活動緊急支援資金」として大学に2億円の寄付(濱田)
- ・ 練馬こまち会は7/18を予定していたがコロナで中止となった。12名の参加予定であった(小垣原)
- ・ 会費の納入状況について(7/31現在)  
納入者は48名(野中さん含む)、未納者の16名にはブルゾン等の資料に納入のお願いと振込用紙を同封する。難波さんが立替えて未払だった2005円は寄付金として処理したい(久保田)

#### <協議事項>

- ・ ブルゾン受注案内・奥多摩散策・BBQ案内は8月7日に郵送した(後藤、伊藤、栗田、濱田)
- ・ コロナ禍での学生支援緊急給付金として北部支部として10万を寄付したいとする三森支部長の提案について、地域支部としての賛否を協議(濱田):役員会として異議なしを確認。北部支部としてのルールはあるのか?等の疑問については、濱田が北部支部役員会で確認する予定。
- ・ 北部支部への役員募集(濱田):小山さん・垂水さんの体調が優れないため後任を募集する。

#### <本日の委員会の結果報告、及び関連質疑>

##### <総務委員会> <情報管理委員会>

- ・ 会則の変更
  - ① 相談役、顧問、委員について:  
顧問は地域外・メンバー外の方を買いに迎える場合に適用する。相談役は支部長等役員経験者が後任役員等を補佐・サポートする等補佐する等の際に適用する。よって現在は両役職を記載することで良いのではないか。必要な場合は役員としていつでも戻ってきてもらえるようなイメージ。
  - ② 校友以外の地域ネットワーク(校友外)を鑑みた場合の枠組みの検討
    - ・ 委員会の要員について
      - ① 各委員会:委員増員希望の有無がないかを議論すべき。
    - ・ 総務委員会の役割について
      - ① 今後どのような形が好ましいかも議論すべき。
- ・ 会員の権利
  - ① 外国への赴任や未払い等、非連続で会員資格が維持できるような枠組みも考えるべき。
  - ② 会と校友が繋がっていることが重要である。人とのつながりが重要。
  - ③ つなげることを第一に考える会運営が重要。思いがけない出会いがあることも会の魅力
  - ④ 会費はその次、資金がかかっている経費見直しも重要。(Webや会報等の軽装備化)
- ・ 会員データについて
  - ① 名簿は経済的支援を企業から取り付けるのに有効(名簿に企業広告を載せるという意?)。

- ② 出さない権限を持っておく、公開する条件（意味が分かりません！）
- ③ 大学の方針、校友会本部の方針を踏まえた対応が重要。
- ④ 会員と校友の違いは何か。再度整理すべき。会員は西東京市の懇親を目的として参加したのだから入会時に自己許諾をしていると理解しても良いのではないか。
- ⑤ 委員長が管理責任者だが広報、組織拡大、委員会連絡、会員ニュース配信等でデータはそれぞれ必要。
- ⑥ 会員データの公開については会がそれを使って何をするのかに拠る。  
(連絡、スポンサー募集、他)

#### ・会員名簿

会員データの取扱者の範囲をどこまでなら許容か？現状では支部長と情報管理委員長と幹事長の3名が取扱い可能とし、広報、会員増強用には必要な時に提供している。

会員増強用の会員名簿案は支部長が作成済。要請に応じて責任者へPW付きで送付予定

- ① 掲載データ：氏名、性別、住所（町名）、卒業年、学部、勤務先、電話番号、Mail、SNS
- ② さらにシンプルにするのであれば「FAX 連絡網」も検討を
- ③ 名簿は校友名簿と西東京紫紺会名簿の2つがある。
  - A)校友名簿は委員長、幹事長が保有
  - B)校友会名簿で反応があった会員名簿：組織拡大担当が保有
  - C)役員・委員会名簿：全役員が保有。役員会時の携帯番号交換なども検討。
  - D)世話役名簿：役員・世話役が保有  
氏名、住所（町名）、卒業年、学部、電話番号、Mail、SNS
  - E)会員名簿：会員全員へ公開  
氏名、町名、卒業年、学部、(電話番号、Mail 他)
- ④ 北部支部総会返信者や市民まつり登録者等、未会員で有望校友データベース作成を進める
- ⑤ 掲載項目の範囲と活用しやすい名簿との折り合い、発行までの工程計画

#### <広報委員会>

- ・ 栗田さん、伊藤さん、木村さん、中村さんの4名で運営。
- ・ 会報発行以外に文書印刷や郵送作業はこれまで通り有志の全員で。
- ・ HP 担当者（現在は支部長）と SNS 担当者（現在は幹事長）の後任については、ブルゾン案内に同封する支部長挨拶に併記して募集。
- ・ 近隣大学校友会（鶴田さんの担当）と近隣地域支部担当を広報委員会の中に併合するか？
- ・ メールアドレス登録者を現状の27名から増やして行く。ブルゾン案内に同封する支部長挨拶に併記して願います。

#### <イベント企画委員会>

- ・ BBQ は本当に開催できるのか？BBQ の具体的開催方法を精査した結果、コロナ禍で中止を決定
- ・ 奥多摩散策（久保田）で小澤酒蔵の酒蔵見学は現在中止→当日も中止の場合は玉堂美術館を見学
- ・ 北部支部の落語会委員の吉本さん以外の追加募集 →募集を継続

## <会員増強委員会>

- ・ 野中氏の退会から、現状は安松さんが主導して松本さんと改めて進める。
- ・ 北部支部返信ハガキを分析する。(今回の熊田幹事長の分析結果が役に立つ。会員増強委員会用の会員名簿は、8月1日役員会后 濱田が作成して熊田幹事長に電送した。)
- ・ 担当地区の方にも動いて頂く。
- ・ 会員を地域の卒業生に限定せず、在校生の父母や会員の友人に枠を広げる考え方について →正会員をどうやって増やすか基本。賛助会員枠があれば問題ない。総務委員会で議論する。
- ・ 明女会は(岡部さんから、コロナが終息するまで当面活動を見合せるとの連絡あり)

## 地域社会貢献活動と、会の運営費用の改善についてのアンケート結果報告(熊田)

### 地域社会貢献活動

#### ・引き取り手を見つけてから動くことが大切

- 1) 切手・ベルマーク(一年間貯めて総会で持ち寄る)
- 2) 使っていない衣服・古着(例えば途上国への寄付団体に寄贈等々)  
どろんこ作業所への相談／
- 3) 会員メンバー:どんな範囲でやるか
- 4) 花の会では140名で、48か所の土づくり、水やり、各公園に所属している(班長5か所)  
苗を育てる2万株、従って男性の力が欲しい。雑草取りは自由に。水遣り。

#### ・市民に役立つ情報発信

田無駅北口にあるJA東京みらい田無支店の直売所にて青パパイヤ等販売…会員が関係しており、地元の小さな話題としての明女会LINE上で情報発信予定

#### (A) 市行政の手の届き難いもの、或いは、市行政を補う貢献活動

##### (1) 生活困窮者・家族の支援:

金銭面: 寄付金

物的面: 書籍、文具品、中古品(パソコン等)の提供。

ハンカチ、靴下等の未使用物品の提供、例えば子育てを終わった会員の乳母車等。

##### (2) 身障者・高齢者の支援:

具体的な介護の手伝い。癒し・楽しみの提供 →施設での音楽演奏、演芸等。

##### (3) 生活環境の改善・美化:

公園等の整備:水井前支部長が参加されている「花の会」が実施している公園等の花の植栽・管理等が好例。道路・河川の清掃。河川については既に、市内のボランティア組織(ゆめこらぼ登録)があり、その手伝いとなります。

#### (B) スポーツ、文化、教養の振興に対する貢献(市民を元気にする活動)

何れも、明大ファンを増やすことにも期せずして繋がるものと思います。

- ・ 会員の特技を生かした実技指導(具体的には思い浮かばないが・・・社交ダンス等)
- ・ 本学の教授・講師関係者・会員の講演会の開催。
- ・ 小学生等の社会見学会の開催

既に、西東京三田会が小学生向けに全日空の羽田整備場の見学会を実施しているが、当会の関係で社会見学はないかどうか。

- ・本学スポーツ選手が市内の小中学校生に実技指導、(野球、サッカー等)

既に、西東京稲門会が、東伏見グラウンドや上井草ラグビー部グラウンドで実施しているが、

- ・市内の小中学校生や保護者を六大学野球に無料招待。
- ・市内の小中学校生を明大マンドリン倶楽部演奏会に無料招待。
- ・市内の小中学校生を明大祭(和泉キャンパス)に招待。
- ・応援団の野外演技(いこいの森公園、田無駅前広場)市民を元気にすると思われまます。場合によっては、早慶法の3大学を加えた競演も視野に入れる。  
(新宿歌舞伎町で毎年10月頃、東京6大学応援団の競演が実施されている。)

- ・本学の音楽・文化サークルの公演会の開催。

マンドリン倶楽部は難しいですが、ハーモニカソサエティー、グリークラブ、等々小規模の編成で良いので、コール田無多目的ホールで出来ないか?

- ・英語の宿題アドバイザー: You tube で展開。(熊田は自信なし)
- ・切手、はがき、ベルマークの回収、現金化で寄付
- ・がらくた市などで不要となった衣類、家具、本を出品して売上金を寄付
- ・道路、公園でのゴミ拾い清掃
- ・生活困窮者への食料支援(社協、NGO 経由になるか?)
- ・地震などの災害時にできるボランティア活動(消防技術、AEG 技術習得、炊き出し実技など技術習得が必要)
- ・農家への労働奉仕(西伊豆の棚田オーナー制度はこの範疇にあった)
- ・定期的講演会の開催(講師は紫紺会会員に限定する)
- ・コール田無~地域市民へ校友会の存在をアピールできるという副産物も生まれる。
- ・音楽祭の開催(紫紺会会員による素人音楽会)~コール田無 etc.~地域住民を招待
- ・会員全員が負担にならない形で社会貢献活動スタートを切る。使用済み切手の収集を提案集めた切手は、社会福祉協議会のボランティア市民活動センターが引き取ってくれる毎年、総会の時に会員の皆様に持ち寄ってもらい、それを届けるという形

## 会の運営費用の改善アイデア

現状ではコロナのためみんなが集って飲食ができないことから、その費用を使ったつもりで幾ばくかを紫紺会に寄付したい。こうして会の収支を改善しながらカネを積極的に使って、上記の活動や、今の会の活動を活発にして、それを外部に発信することで人の輪を広げていくべき。収入が伴う活動を直ぐにと言われても難しいので、小さいことをコツコツ続けるのが得策だと考える。

- \* 会議終了後、リモート会議用 PC、スマホの**設定サポート**を実施。

今回の役員委員会議は9月5日(土)コール田無で13.00の予定

以上